

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0006 名古屋市中区葵 1-27-32 カイフビル 7階

HD ニュース

No.22
2014.10.15

今後の予定／於：事務局会議室

- 10月16日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 10月21日(火)18:00～ 相談委員会
- 10月21日(火)19:00～ 研修会
- 11月6日(木)18:00～ 三役会
- 11月9日(日)・10日(月) 研修旅行
- 11月18日(火)18:00～ マンション大規模修繕研究会

副理事長就任にあたり

副理事長 森 登

この度、副理事長に就任することになりました森登です。前副理事長・寺島靖夫先生の後を引き継ぐ形になりましたが、私は若輩者で微力しかありません。他に適任の方がおられると思いますが、私なりに滝井幹夫理事長をサポートさせていただきつつ「情報交換が活発で会員の顔が見える会」に貢献できるように、頑張らせていただきたいと思います。何分にも不慣れたポジションですので、至らないところが多々あると思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

会報「ホームドクターニュース」については様々な意見がありますが、委員会活動報告の他、会員・賛助会員の紹介や会員と賛助会員の連携なども紹介していく、との方向性が出ています。そして、会員

獲得のツールの一つとしても有効なものにしたいと考えています。

研修旅行については「一泊は大変なので、日帰り見学も」という声を耳にします。それを受けて、個人では行かない・行けない場所を見学先にする、或いは事務局からは、地域で頑張っている方々を尋ねて情報交換することを見学に加える、等の意見も出ています。他にも異なる切り口の見学先もあるかと思しますので、皆様からのリクエストをお待ちしています。

自己紹介です、岐阜県加茂郡坂祝町生まれ、中部工業大学建築学科卒業、MATO 建築設計事務所入所、1996年森登建築設計工房開設、牡羊座です。

『建築総合展 NAGOYA』概要と研修会

研修委員長 津島勝弥

去る10月2日(木)から4日(土)の3日間、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)にて『第44回建築総合展 NAGOYA』が開催されました。そこで、「HD ニュース No.19」で書いた6月28・29日にポートメッセ名古屋で開催の『住まいの博覧会』と同様、ホームドクターの研修会でとりあげられる「ネタ」がないかという視点で10月3日(金)に会場をのぞいてきました。

建築総合展は、中部地区唯一の建築関連専門展示会とうたわれていますが、年々開場の規模が小さくなってきています。今年の3日間の来場者の合計は2万3千440人と発表され、この10年間の推移をみても、120社前後あった出展者が5年前から2ケタに、来場者はほぼ3分の1になっているようです。

たとえば、2004年の実績を見ると、日曜日を含めた4日間の開催だったこともあり、来場者

は6万2000人。その39%が一般の方々だったようです。(残り61%が業界関係の来場者とすればその数は3万6千700人。さすがに多い!賑やかだったはずです。)しかし、その後、2005年に3日間の開催となり、来場者は4万800人。日曜がはずれることでそれまで40%程度あった一般来場者が10%台に減っています。

また、来場者データでは、設計事務所と工務店・ハウスメーカーの比率は2004年に15:15と同数。それ以前は、設計事務所の方が多かったのですが、2005年に16:24に逆転しています。最近では発表されるデータ内容が変わりこの分析ができません。色々数字をならべましたが、建築総合展に出掛ける設計者がかなり減っているようです。

昨今の不景気が原因という単純な理由ではなく、産業における建築業界の規模が縮小し、関連人口

が減ってきているのか、関心のある対象が減っているのか分かりません。

『建築総合展』の今年のテーマは「建築がつなぐ明日への希望」とあり、今の建築業界の状況に感じる閉塞感（私自身？）からの脱却について、各種企業団体がいろいろと模索していることが感じられました。また、展示しているメーカーや業種についても、ずいぶん様変わりしていて、会場を新商品のプレゼン大会の状態にしていた有名メーカーのブースはほとんどが（ポートメッセの博



覧会展に出展に転換したか?) 消えていました。

明日への希望については、①「木材－日本の木材、地域の力」、②「技術－建築の最新技術がつなぐ明日への希望」、③「人材－建築士がつなぐ明日への希望」が題され、それぞれが展示とセミナーの柱となっていました。

強引にまとめると、①は国産材の活用（地域材の需要拡大）への取り組みの紹介。地域材の品質・構造・デザイン・減災など、木と建築をトータルに学ぶため、ウッドカレッジと称し12講座を会場内で開催。②は太陽光発電をはじめとする次世代エネルギーや省エネの技術の紹介。医療・高齢

者施設の建築において、建築士が何に配慮し、工夫すべきかを建材・設備とともに紹介。東海地区に今後起きるとされる大地震における被害を減らすべく、耐震・免震・制振等の工法の紹介。③建築士のスキルアップを意識させる作品展示や講座。ということになるでしょうか。主催の愛知建築士会は公益団体としての活動の一部を報告会、セミナーとして聴講を開放して、建築士が取り組んだ地域貢献活動の報告会が3日に、あいちヘリテージマネージャー（第Ⅲ期生修了）の発表会も最終日に開催されました。

さて、研修会として勉強してみたいと感じるモノもいくつかありました。立ち寄り先での解説だけではなく、後日連絡をとって詳しく説明をもらう予定も入れています。

住宅設計者への技術研修会の内容を何にするか、これまでもアンテナを全方位に向けていましたが、よく考えると建築総合展と同じく「明日への希望」につながる知識見聞を求めていたような気がします。最新技術となると、実績による説得力が薄かったり、導入が容易でないコストだったりしますが、話を聴く価値があると感じたところとは接触して、できるだけ研修会に呼んで話をしてもらおうと思います。

このレポートでは具体的な事例紹介をしていく紙幅がないので、個別例の紹介は省略しますが、企業側も設計者と知り合う機会を求めて出展しているので、お互いの仕事での「明日への希望」になれば、そんなことを感じています。

■三役会 9/2 18:30～20:00

第20回理事会、第10期通常総会資料の打合せ。

■理事会 9/9 18:30～20:00

第10期通常総会資料の打合せ。会の運営について。寺島靖夫副理事長の退任のあいさつ。

■マンション大規模修繕研究会 9/16 18:00～19:00

マンション大規模修繕コンサルタント業務について、一般向けに案内するパンフレット及びHPに掲載する資料づくりの打合せ。

■技術研修会 9/16 19:00～21:00

「省エネ等級4の新基準とは」

講師：ビューロベリタス名古屋事務所

■木造技術研究会 9/18 18:30～20:30

研修旅行について。「フラット35対応 木造住宅工事仕様書」読み合わせ。来年4月から改正省エネ法が完全移行のため『省エネルギー性』は省略。

■通常総会 10/2 18:30～20:00

任期に伴う役員を選任。収支決算・計画など。